



「町から村から」で十七夜祭を紹介

NHKテレビ、海の歴史もとらえて

恵比須神社（明神様）恒例の十七夜祭は五月十七日に行われました。

前夜来の雨もあがり、当日はうす曇りで、山車を引く人たちにとっては絶好の祭り日より。砂郷地区担当の踊り山車（ヤマ）は午前八時から午後四時まで阿知須浦をねりまわり、小学生の踊り子二十人が町内の要所で榊原静磨さん（繩田北）指導の踊りを披露しました。

午後は町青年団員やバレエボール同好会員らのみこしや踊り行列、若鳥幼稚園児のバトントワラーなど商店街をねりまわりました。

夜は日没後、井関川河口での打上げ花火。夜は肌寒さを感じられましたが、見事な花火に観客は初夏を楽しみました。

花火は総額三百万円。最後の連発式だけで三十五万円かかりました。

当日はNHK山口放送局がテレビ放送用にとカメラで取材し六月四日朝のローカル番組「町から村から」で本町の歴史とも組み合わせ放映しました。

（写真は踊り子、手前はNHKのカメラマン）

1市3町で共同の上水道施設

将来は町内全域の給水めざす

水道週間によせて

水は人間の生活に一日とも欠かすことのできない大切なものです。水は飲み水や炊事のために毎日利用されるほか、消火やいろいろな産業に利用され、社会活動の支えとなっています。

わが国の水道は、徳川家康が江戸に幕府を開いたときに、江戸市民の日常生活に必要な水を得るために神田上水を築造したのが最初だといわれています。一五九〇年今から約四百年前のことです。

本町の水道は一九六五年（昭和四十年）から給水が始まりました。以来十六年経ちますが、将来に備えて、いま広域水道事業の施設整備を進めています。

六月一日から七日までは「全国水道週間」ですので、水道の問題についてとりあげてみましょう。

五千人を超えると「上水道」

給水人口で「簡易水道」と区分

水道事業は「水道法」という法律に則って行われます。給水人口百人を超える場合が対象になります。法によると水道は次のような種類に分けられます。

①上水道 給水人口が五千人以上

②簡易水道 給水人口が百人以上五千人以下

③専用水道 寄宿舎や住宅などの特定の人だけが使うもので給水人口百人以上

④水道用供水給事業 上水道や簡易水道に浄水を押し売りするもの。

本町の給水人口は現在約四千九百人ですから、このうち②の「簡易水道」に当たります。

水道の水はどこから取るか、その水源は大きく分けると三つになります。

川の水など使用する権利が必要で、すでにこの水を利用している人たちから分けてもらうことになるので権利の取得がなかなか困難です。

②ダム 大量の水をとるために山奥や河口にダムをつくり、大雨のときの水をためて使います。近ごろは飲料水だけでなく洪水防止、発電、農業、工業用など共同で多目的ダムが多くなりました。

河川やダムから取った水は飲み水にするための作業がいりま

①沈んで池 水に薬品を入れてかきまぜ、ゆるやかに流しながら水の中の浮遊物を沈めます

②ろ過池 沈んで池を通った水を砂の層などでこして、微細な浮遊物や細菌などを除きます

③消毒 ろ過した水に微量の塩素を入れ、病原菌を死滅させます。塩素は人が飲んでも害にならないように量がきめられています。

井戸水の場合は沈んで池や、

二年後には岩倉・旦にも

今年度中に丸塚へ配水池新設

生活の程度が上ると水の使用量がふえるといわれています。

ただ日常生活の炊事用だけでなく、そんなにいりませんが、発電、各種の工業生産、水洗便所などその用途は年を追ってふえています。そのため、国・県・市町村などこの水対策は大きな仕事です。阿知須町でも将来に備えて、近隣の市・町と一緒に

水道計画を手がけています。つまり「山口小郡地域広域水道事業」がそれで、山口市、小郡町、秋穂町、阿知須町の一市三町が一緒になって「山口小郡地域広域水道企業団」をつくり、共同で作業を進めているところ

この事業は山口市宮野の奥地にある荒谷というところにダム

ろ過池はいりませんが、塩素消毒は必ず行います。本町の水道は町内の井戸（河内・赤迫）と厚東川の表流水（宇部市から買

るようになっていきます。この配水池は共に標高四十八メートルのところ

つくり、樫野川に水を流し、小郡町近くの樫野川から表流水を引き込んで水道用水として使おうという計画です。これは五十三年度から準備にかかっておりすでに配管工事も進んでいます。

現在の給水地域は岩倉地区を除く阿知須校区ですが、二年後には岩倉、旦地区の給水を手はじめに順次地域を拡大し、町内全域の給水をめざしています。

本町が水道を開始した昭和四十年の給水人口は二千三百四十人でしたが、現在は約四千九百人で、二倍以上の伸び。給水量は一日二百立方メートルだったのが千五百立方メートルと五・五倍にふえています。

計画によると、当初は阿知須町に毎日約二千六百立方メートル、昭和六十五年には約五千六百立方メートルの給水を見込んでいます。

数えると現在、毎日五千五百本使っていることになりました。町の井戸の揚水能力が一日三百五十立方メートルですからあと一立方メートルから一立方メートル当り

六十四円で買っています。水道料金は基本料金が一月五立方メートルまで五百円、それを超えて三十立方メートル以内は一立方メートルにつき百四十円、百立方メートル以内百四十円、これに使用量が自動的に判

ります。これは水道管の口径の大きさによります。

ろ過池は約四キロ（繩田、西条など低地区）低いところは約二キロ（岡山地区）です。

給水人口は二倍強

十六年間で給水量は五・五倍に



水を節約するために

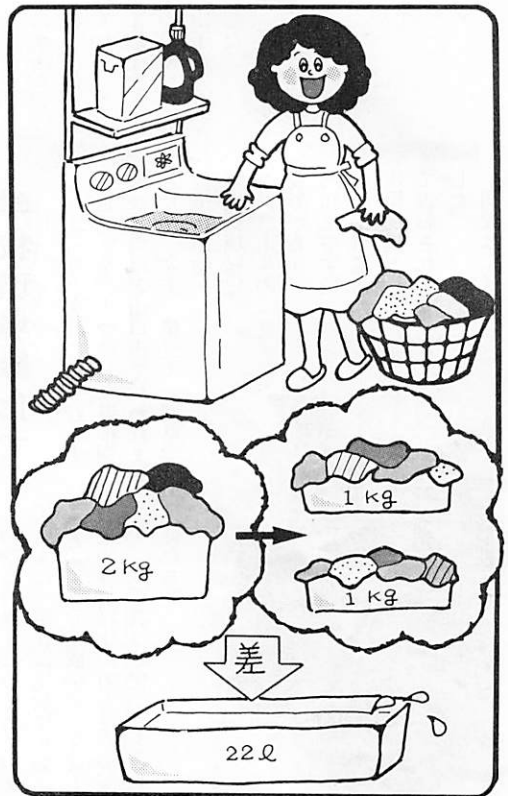
ポタリ、ポタリで一日
ドラム缶の四分の一

水は貴重なものですし、人間は水をとらなければ十日間以上生きることは困難です。水さえあれば食物がなくても一か月程度は生きられるといわれています。人体の約六〇〜六五%は水分からできており、もし、その

**白は空気による「アワ」
赤は水道管の「アカ」**

「にこり」の見分け方

時々、水がにごることがありますが、これは小さなアワによるものです。水道工事をするとき、水道管の中に空気が入ります。そのため小さなアワが無数にでき、にごって見えますが、バケツなどに入れて放っておくと自然に消えてしまいます。



一〇%の水分が失われると身体に異常がおこり、さらに二〇〜二五%減ると生命が危険だともいわれます。

日常生活の中でもし、水をじょうずに使うとしたらどのくらいの量になるのでしょうか、記してみよう。

☆じゃ口の開閉「じゃ口を全開すると一分間に約二〇リットル、六〇度程度開くと約六リットルの水が出ます。ポタリ、ポタリ程度の水でも一日で約五〇

赤にごった水が出るときはしばらく水を出しっぱなしにしておきましょう。これも工事をしたとき、急に大量の水を使用したときに起ります。

これは、水道管の内側にできる「水あか」のためです。この除去についてはいろいろ研究されていますが、現在のところ決定的な対策はまだ見出されていないのが実情です。



リットル、ドラム缶の約四分の一になります。

☆洗面・炊事「あらかじめ水を汲んでから使うと少量ですみます。

☆洗濯「すすぎをするときは一旦、脱水して洗剤をおとし、洗剤の水を脱水してからすすぐと約二〇リットルの水が節約

約できます。衣料は少しずつ毎回洗うより、量をためて洗う方が得です。

☆洗濯「自動車を二回洗うのに出しっぱなしだと三〇〇リットル程度の水が必要です。これをバケツに汲んで洗うと五〇リットル(バケツ五杯分)です。毎週一回洗うとすれば浴槽五杯

分担金は三万円

水道の新規申込み

町の水道へ加入したいときは保健衛生課水道係へお申出ください。

経費は加入の際の分担金が一件三万円。これは町の水道事業特別会計に入ります。施工は町が指定している五業者の中からお選びください。

業者は大沢商店(中村) 辻岡

**逆流を防ぐ
衛生面で注意**

水道は衛生面についても気をつけましょう。町が施工業者を指定しているのは衛生管理の万全を期すためもあるのです。

家庭での注意としては

- 浴槽や洗濯機の中に、水道のじゃ口に直結したホースをつけることはやめましょう。水が逆流して水道を汚染して衛生にならなことがあり
- 伝染病の発生につながる危険性があります。
- じゃ口に市販の付属品をつけて使うときも気をつけましょう。かえって不衛生になることもあります。
- 長い間使用していないじゃ口を再び使うとき

分ぐらいが月に節約できます。

衛生管理、その他の規制があり指定業者でないときまませんじゃ口がこわれたり、水もれがするときはこれらの業者に修理を依頼することになりますので直接、この業者に頼みましょう。水道管の破裂事故は水道係へ直ちにご連絡願います。

は、水を出しっぱなしにして、きれいになったのを見はからって使います。

**町の水道
ものしり帳**

- 送・配水管総延長(水源地→配水池→各地区) 約三キロメートル
- 配水管(配水池→家庭) 最大口径 二〇〇ミリ 最小口径 二五ミリ
- 水源地の井戸の深さ 河内 六メートル 赤迫 九メートル
- 水道料金 (55年4月〜56年3月) 利用者からの収入 約五九〇万円 宇部市への水代支払額 約一九〇万円
- 消火栓 五二か所
- 消毒法 塩素滅菌

環境をめぐり

住みよい環境をめざして、本年も六月五日から十一日まで「環境週間」が始まりました。一度壊された美しい自然は、二度とみかえりません。きれいな空や水を守り、いきいきとした緑を育てていくためには、お互いが、家族ぐるみ・地域ぐるみで身近に考えてみましよう。そうすることがさらに美しい自然をつくり、住みよい豊かな郷土にしていきます。このように考えて、身の回りを見まわすと身近にできることがいくつもあることに気づくはずですよ。みんなが住みよい環境づくりに努力すれば、自然は美しさを絶やすことはありません。

自分一人ぐらいいは、というふうな気持ちでいると、いつまでたっても「住みよい環境」は実現しません。

わたしたちみんなの協力こそ、快適な生活環境への「近道」です。

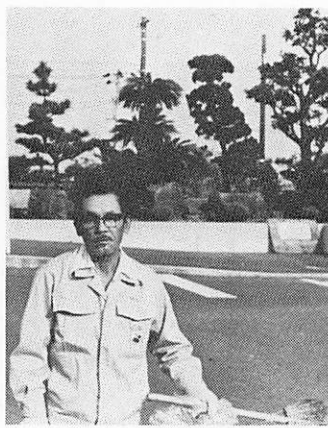


住みよい環境

駅前を清掃奉仕 井関の松本武さん

阿知須駅前広場を毎日のように清掃している人があり、感心な人だと話題になっていきます。この人は松本武さん(五七)井関・山口職業訓練所生で、清掃をはじめたのは阿知須駅が改築された五十三年四月から。

当時、松本さんは宇部カントリークラブのバスの運転手を勤め、町外から通う従業員を駅からゴルフ場まで送迎していましたが、いつも広



場が汚れているのを見て、「阿知須の玄関がこんな汚れているのは町民の恥だ」と考え、掃除を思いました。

以来、乗務のたびに清掃、昨年七月に定年退職し、この四月から溶接技術を習得するために職業訓練所に通っていますが、引き続き清掃を続けています。

「初めのころはあき缶がよく捨てられていました。酔っ払いの吐物を仕末したこともありましたが、いまはあき缶が少なくなりました。公衆電話ボックスにタバコの吸い殻が散らかっていたので吸い殻入れを備えておくのですが、時々なくなります。今は八回目です。もう、持っていかないでほしい。」

「くろくろく」と声をかけられたときはうれしかったですね。

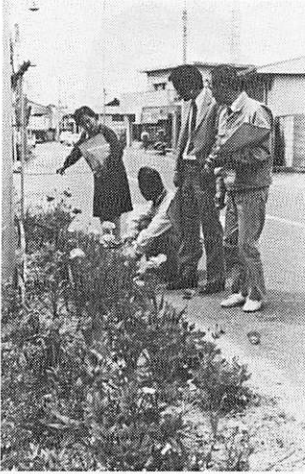
こんな心掛けと実行力のある人がおられること、私たち町民にとっても、うれしいことですね。」

花いっぱい町づくり

春と秋に

「花のコンクール」

町教育委員会では「明るく住みよい町づくり」を旨として花いっぱい運動を展開しています。五月二十二日には町内の老人



山子ども会でも花を
(写真は花を見る審査員)

クラブ、子ども会、学校等が丹精込めて育てた花のコンクールがあり、芥川貞一さんら四人の審査員が町内十六か所を回って審査しました。審査は毎年春と秋の二回実施しており、この二回の成績によって最優秀が決められます。昨年の最優秀は前

阿知須中が優良校 学校環境緑化で

「ふるさとを緑でつむむ」二十一世紀」をテーマにした県植樹祭がこのほど山口市で行われましたが、席上、第三十一回県学校造林活動・学校環境緑化コンクールの表彰があり、阿知須中学校が学校環境緑化優良校として表彰されました。

同校は、緑



のある自然環境の中の教育を目ざしており、「阿中の森」をはじめ校庭の緑化につとめています。また、現在は運動場東側に「青春の森」も造成中で、今後も学校の環境緑化に力を注ぐ計画です。(写真は緑化につとめる生徒たち)

ご協力をお願いします 7月1日 …… 事業所統計調査



この調査は、次の三種の種類に分けて行われます。

(甲調査)

民間経営の事業所が対象です。調査事項は、事業所の名称、所在地、経営組織、事業の種類など九項目ですが、会社の本社事業所の場合はこの外に資本金額など四項目が加えられます。

(乙調査)

サービス業のうち物品賃貸業(レンタカー、貸しボート業など)、旅館その他の宿泊所、クリーニング、理容・浴場業、映画館・娯楽業、自動車整備業・駐車場業およびその他の修理業が対象で、調査事項は次のとおりです。

名称、現金給与支給額、最近一年間の総売上高。

(丙調査)

国、地方公共団体および公共企業体の事業所を対象に事業所の名称、所在地、事業の種類、職員数の項目について調査します。

なお、調査の方法ですが「甲調査」と「乙調査」は県知事から任命された調査員が六月下旬からすべての事業所を訪問して調査票の記入を依頼し、七月中旬までに回収します。場合によっては、調査員が、直接聞き取り調査をすることもあります。

「丙調査」は調査員によらず、国や地方公共団体および公共企業体の組織を通じて行われます。ご協力をお願いします。

昨年行われた国勢調査とならんで国の最も基本的な統計調査である「事業所統計調査」が七月一日、全国いっせいに行われます。

この調査は、昭和二十二年にはじまり、以後三年ごとに行われていたもので、わが国の経済活動の基礎である事業所の実態を全国ならびに地域別に明らかにすることが目的です。調査の結果は、国、県、町の行政や経済施策をはじめ、民間では事業計画を立てる際の基礎資料として利用されます。

調査の対象となるのは、会社、工場、商店、病院、学校のほか、官公庁、国鉄・私鉄の駅、ホテル・旅館や神社、お寺にいたるまで、農林漁家を除く事業所です。



栄養推進員ベントリー...④

家族の健康は料理の工夫から

健康のありがたさは病気になるまで初めてわかる...
健康のありがたさは病気になるまで初めてわかるとよく言われますが、健康はバランスのとれた食事をするのが何よりも大切なことだと思います。私たち栄養改善推進員の今年の研修内容の重点目標は、子どもの時から正しい食生活：「甘すぎる」「かからすぎる」：食事の追放です。

子どもの時から薄味にならしておかないと、大人になって急に薄味に変わることはむづかしいのです。私の家でも、主人が足のけがで入院したことがありますが、検査をしていただき、少し肝臓が悪く、血圧も高いと注意されました。病院の食事につけ物はひと切れもついていません。主人はつけ物が好物ですが、退院してから食事は薄味に気をつけ、味の不足はレモン汁、香味野菜等で補って食べるようにしています。病氣も良くなりませんが、塩分の取り過ぎになるといけないので好物のつけ物は小皿に分け、食べ過ぎないようにしています。また、味噌汁は実をたくさん入れて汁を少なくしていますので、主人は味噌汁の煮メのようだと笑っています。鉄の調理器具は貧血予防に役立ちますので、よく使って料

理を作ります。主婦のちょっとした心掛けて家族の健康を考え、おいしく食べられる料理の工夫をしたいものです。
天野 延子(繩田北)



河村豊さん(恵比須)に消防庁長官表彰

五月十七日秋市で行われた第三十回山口県消防大会に町消防団(中田光人団長)から団長以下第二分団員十六名が出席。その席上、河村豊さん(第一分団分団長・恵比須)の消防庁長官

今年度の団体役員
今年度の各団体の新役員が決まりました。正副会長はつぎのとおり。(〇印が会長、敬称略)
阿知須中学校教育会
〇中原 謙二(引野)
中村 優照(旦東)
小野満喜子(浜)
阿知須小学校PTA
〇岡村久寿男(築地)
長久 寛(小西)
中嶋 充江(浜)

井関小学校PTA
〇山根 敏英(引野)
兼重 佳昭(杖川)
古谷八千代(浜表)
阿知須婦人会
〇繩田ユキコ(恵比須)
上山 昌子(恵比須)
原田 英子(北祝)
井関婦人会
〇重田 政江(旦東)
藤田 良子(引野)
中戸 澄江(仙在)

阿知須町子ども会
育成連絡協議会
〇釈野 憲章(引野)
大沢 義雄(築地)
井本 鶴代(南祝)
阿知須青年同志会
〇上野以志夫(小南)
渡辺 光夫(赤迫)
網田 次男(沖の原)
阿知須青年団
〇桂 直樹(恵比須)
丸山 伸子(飛石)

根こそぎ処理をセイタカアワダチソウ



今年もセイタカアワダチソウが伸びる時期になりました。この時期に薬をまくか、引き抜くと繁殖をくいとするのに役立ちます。特に雨のあとは抜きやすくなります。根こそぎ抜けます。町有地は職員が抜く予定ですが、個人の土地に生えているのはそれぞれ土地所有者や地域ぐるみで処理しましょう。



ほめるにせよ、しかるにせよわが子についての「情報」は欠かせません。その「情報」の豊富さは、

子どもについての「情報」

親子の境を越えた「つき合い」を

気づかないことがあります。しかし、ほめる場合など、どんな小さな事でも取りあげてやるべきですから、子どもの言動についてよく知っておくことが大切なことです。一方、しかる場合にも、ふだ

かりが目に入り、あれこれと注文することが多いようです。しつけを例にとっても、母親は無理にだめだめたり、むやみにしかるなど感情的になりがちと云われます。その事自体はともかく、一方

んから子どもの成長ぐあいや行動の背景などの「情報」が頭に入っていると、子どもの方も納得してくれ、親のいうことをよく理解できるようになります。一般に母親は子どもの短所ばかりが目に入り、あれこれと注文することが多いようです。しつけを例にとっても、母親は無理にだめだめたり、むやみにしかるなど感情的になりがちと云われます。その事自体はともかく、一方

ほくの学校 わたしの学校

- 16日 一・二年遠足、三・四・五年社会見学
- 17日 水泳事前検診
- 20日 水泳指導開始
- 7月1日 安全日
- 6日 集金日
- 10日 学校訪問
- 23日 プール開き
- 25日 参観日
- 26日 貯金日
- 7月4日 ふるさと学習
- 9日 内科検診
- 13日 西部県体(水泳・宇部市)
- 20日 野球・テニス選手権予選(本校)
- 25日 貯金日・簡易保険納入日
- 29日 保護者参観日
- 7月1〜2日 期末テスト



ふれあい 広場



さつき会

「ふれあい広場」はみなさんのページです。
町政への提言や身近な話題、絵画、写真など町企画室（有線二四一）へお寄せください。

歌うことの楽しさ

阿知須小学校PTAのママさんコーラス「さつき会」は四十七年五月につくられ満九年になりました。その間、年度の県ママさんコーラス大会、町の文化祭、校内音楽会に出場させていただき歌うことの楽しさを体験しましたが、歌を通してふれあう心はお互いの悩みなどを解消させてくれます。また、コーラス部を通じ音楽への理解を深めると共に、楽しい雰囲気は、お互いの人間関係、相互の親睦をはかる絶好の場でもあるようです。PTAの一環としての活動ですから上手というのではなく、

はりきってまじり グループ紹介

短歌

飛石 砂村ヤス子
山峡の湯の町に入り清らかな小川の岸に吉野桜咲けり
小西 平海アサノ
三度豆植え終へたれば鳩のため案々子作らむと吾はつぶやく
小西 藤重アヤ子
夕霧の中に浮き出でし岩国城あやしきまでに吾が目映る
砂三 渡辺 宮子
ひとつ成しふたつ忘るる明け暮

れを老いの兆しと思ひ笑へず

小東 松尾 君代
となり畑の働き者は帰行き吾は見ており夕日の位置を

源河 村井 薫
藤の花匂ふ木下の夕光子よりの便りくり返し読む

南祝 長谷川さつき
名を呼べば受話器の中に混る声幼き顔のまぶたに浮ぶ

浜 石田サダ子
駐車禁止となりてへり行く客足に閉店時間を三十分のばす

下手な人でも「歌は歌える」ということを目的に一人でも多くの人に呼びかけています。
現在会員は二十五人で、藤田、

大沢両先生の活気あるご指導のもとに、週一回土曜日の午後一時半から三時まで阿知須小学校講堂で一生懸命練習しております。これからもPTAの発展と共に活動を つづけてまいります。歌の好きな方はぜひご入会ください。お待ちしています。
連絡先は学校か、(浜)中嶋まで。
中嶋充江 記



巨東 木原百合雄
晩春の今朝の仕事に菊芽さし心安らぎテレビ見ており

河内 師井 泰枝
時かり注油を終へし飛行機の離陸を息つめ孫と見守る

浜 正司ウメノ
雀の子屋根より落ちて死にたれば墓標を立てて孫は弔ふ

砂一 沖見屋二郎
嫁よりの叡山土産手のひらに小さし立像月光菩薩

北祝 原田双恵
とにかくに故郷はよし近親と花と草木と昏親しまる

源河 三吉 琴
竹の林を抜ければ農家のかど畑いちこの白き花盛りなり

岩西 中本 幸枝
青空に赤黒青の鯉泳ぎのぼりはためくを孫抱きて見る

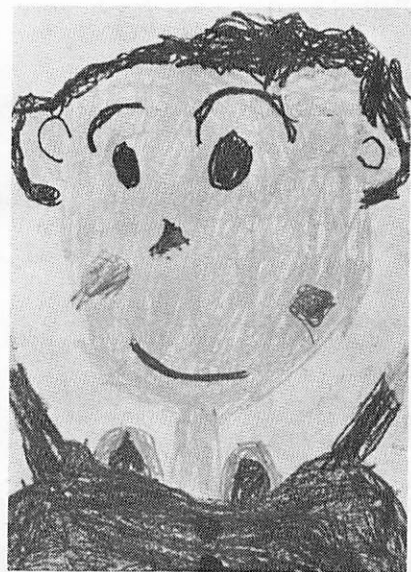
砂三 桜井 文子
アイロン台と動力ミシンとカーテン生地に囲まれて居る吾は落ち着けり

民謡教室で地区民交流 飛石公民館

飛石公民館では公民館活動の一つとして民謡教室を開いています。昨年5月に町のモデル公民館の指定を受けたのを機に開講しているもので、毎週土曜日の夜、地区内の人が集まって全国各地の民謡を習っています。指導者は平岩真治さん(砂二)です。



▲民謡のお勉強

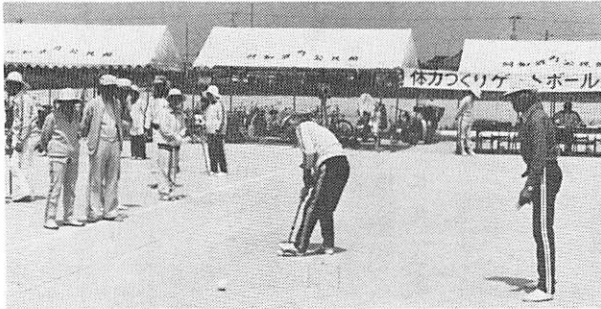


「おかあさん」

岩倉保育園
たなべたかひろ(5歳)
(貴弘)

熱戦を展開 体力づくりゲートボール大会

町教育委員会主催の体力づくりゲートボール大会は五月二十二日町民グラウンドで開かれまし



た。

当日は、混合の部二十八チーム、女子の部八チームの合計三十六チーム二百六十人の老人が参加。町長あいさつや選手宣誓のあと熱戦を展開しました。

試合は手づくりの応援旗(手旗)を振っての応援もあり、なごやかな中にも、キビキビとした内容でした。その結果、混合の部では縄田ことぶき会が優勝、二位は中村老友会A、三位西条松風会B。女子の部では優勝が中村老友会、二位玉川寿会、三位西条松風会。また、敗者復活戦もあり混合の部優勝は砂郷三

高砂会A二位砂郷一・二養老会女子の部は優勝石倉第二老人会二位赤迫赤栄老友会でした。

青年団「ぶどうの実」 交通安全キャンペーン

青年団「ぶどうの実」(桂直樹団長)は五月二十二日阿知須中学校前のバイパスで交通安全キャンペーンを展開しました。

最近春の交通安全運動や行楽シーズンも終り、運転者の気のゆるみが出る頃。このため、特別な時期だけでなく、常日頃から安全運転に気をつけようという意識を青年団員手づくりのマスコット人形を運転者に渡して呼びかけました。



▲安全運転をお願いしまーす



山登りの
楽しさを教える

磯金竹雄さん(三〇)

西条区・自営



町教育委員会が主催する野外スポーツ教室「第一回花尾山登山」に講師として参加、町内の老若男女五十七人を引率した。「山を征服した時の満足感、いいですよ。すばらしい思い出として心に残るし、登った仲間との連帯感も生まれますしね」と山登りの良さについて目を細める。学生時代(東京農大)にもハイキング程度で登ったことは

あるが、本格的に山登りをはじめたのは阿知須に帰ってからのこと。現在は、宇部・小野田勤

労者山岳会に参加して活躍中。野外スポーツとしての山登りを教える楽しさは「きれいな空気を胸いっぱい吸い込んで、自分と同じ喜びをみんなに知ってもらうことじゃあないですかね。また、むつかしい山を登ればそれだけ記憶に残るので」と山男らしくいかにもすがすがしい。山登りで注意することは、「一般的なことです。自分の体力、年齢に応じた山を選び、無理をして登らないことです」と無理な計画、行動をしないことを強調。「山登りも楽しいけど、野外炊飯も楽しいですよ。一人

でも多く誘ってください」と八月二十三日の第二回野外スポーツ教室の黒ぬた谷(佐々並)野外炊飯に呼びかける。磯金さんにとって「登山」とはの問いには「一生の趣味です。今までの最高は槍ヶ岳登山です」とニコリ。「みんなが楽しく参加できるハイキングや山登りのグループを作りたいですね」とグループ作りに意欲的である。地区に帰れば、西条区の青年部長として、夜警、盆踊り等地域の行事の中心として活躍。家業の醤油醸造に精励

少年剣友会の低学年Aチーム優勝 宇部市の錬成大会で

阿知須少年剣友会の二十四人はこのほど宇部市で行われた第二十六回宇部市剣道少年団



錬成大会に出場。団体、個人戦と力いっぱい戦いました。その結果、団体戦で剛(同四年浜)の五選手が優勝、個人戦では原田博正君(浜)が二年生で三位と健闘しました。(写真は低学年Aチーム)

子ども相撲大会は 東条チームが優勝

第六回十七夜祭奉納子ども相撲大会は五月十七日阿知須小学校で十五チームが参加して行われました。その結果、総合で東条チームが優勝、準優勝寺浜チーム、第三位は引野チームでした。(写真は東条チーム)



お知らせ

社会体育指導者の養成講座

申込みは十三日まで

町教育委員会ではスポーツをとおして地域の円満な発展を期するため、社会体育の指導者養成講座を開きます。

対象者は①社会体育推進員②体育指導員③体育協会役員④スポーツ少年団指導者および育成者⑤スポーツ団体指導者⑥スポーツ活動を希望する人で定員は五十人。期間は六月二十四から八月五日までの毎週水曜日午後七時半からと七月五日・二十六日・八月九日の日曜日の合計十回です。

申込みは十三日(土)までに町教育委員会(有線四八九二)へ。

働く婦人のみなさん!

困ったことは

勤労婦人相談員
に相談を

今日、働く婦人は雇用者全体の三分の一を占めており、経済

参加しませんか

「目で見る県政教室」

申込みは七月七日まで

県では「目で見る県政教室」を七月十七日(金)に実施します。

これは、みなさんに県内の施設を見てもらい意見等を聞くた

社会において重要な役割を果たしています。

しかし、労働条件等、家庭生活との調和、母性の健康管理といった点で多くの問題があり、悩みを持ったまま働くことは働く婦人にとっても企業にとってもマイナスであるといえます。

そこで、県では勤労婦人相談員を徳山・宇部・下関の三労政事務所に設けて働く婦人のご相談に応じています。困ったことがあれば遠慮なくご相談ください。相談は無料で、秘密は守られます。

心身障害者(児)の住宅改善などはどうぞ
十五日まで受付

心身障害者(児)の住宅改善などはどうぞ

十五日まで受付

町では、心身障害者(児)の福祉対策として、居室連絡安全設備整備事業」と「住宅改善助成事業」を行っています。

居室連絡安全設備整備事業は心身障害者(児)が室内外との連絡をたやすくし、安全を図るためのも。対象者は重度の心身障害者(児)で低所得世帯に属する人です。事業の内容は室内外連絡ベル、インターホン、点滅式ベル、誘導用チャイム等で設備費の購入費、取付料および使

めのもの。見学場所は、環境センター奥山工場、満珠荘、西部高等職業訓練校、下関養護学校の四か所です。今回は阿知須、宇部・小野田地区の成人者が対象。バスでまわるので定員は五十人。希望者が多い時は抽選です。当日は午前八時までに町役場前に集合のこと。参加料は昼

食代として五百円。申込みは七月七日(火)までに、ハガキに住所、氏名、年齢、職業を書いて山口県庁広報課(山口市滝町一丁目・電話山口三二二二)「目で見る県政教室」係へ。

なお、参加者の決定については直接本人に連絡があります。

▽宇部労政事務所電話宇部二〇五六一番

児童手当の現況は六月末までに届出を

児童手当受給者のみなさん、「児童手当現況届」の手続きは六月末までとなっています。もし、六月末までに手続きをされないと、今まで受けている人も六月分からの支払いが受けられなくなります。

善意はここに

社会福祉協議会へ

◇香典返し▽十万円 伊藤省三さん(杖川)は妻菅子さんの▽三万円 藤本シツ子さん(且東)は夫義人さんの、伊藤仁美さん(繩北)は父藤田好雄さんの、中尾佐多彦さん(沖の原)は母清子さんの、兼重雅之さん(寺

持者で低所得世帯の人。住宅の居室、浴室、便所等の改善に要する経費として支給します。申込みは十五日までに町住民課福祉係(有線二二三二)へ。

河内)は妻ミヤ子さんの、西中瑞子さん(砂三)は夫英治さんの▽二万円 眞藤富吉さん(西条)は妻キヌエさんの

◇篤志▽十万円 若島幼稚園(宇部市西岐波区鬼石)の中村彰臣・靖子さんは新婚旅行をやめて費用の一部を身体障害者福祉に▽七万円 いのうえ美容室(北祝)さんは創立七周年記念として▽一万一千二百六十四円 矢田部郁夫さん(ラーメン大王)はつり銭を▽一千元 田辺フジエさん(野口)は拾得金を、匿名希望 二人

出生(おすこやかに) 親の名続柄 子の名 月日 部落 高井則利 三女 純子 4・25野口

6月のメモ

- 8日 日本脳炎予防接種2回目(岩倉保育園・後1時半, 若島幼稚園・後2時10分)
- 9日 育児相談(後1時半)
- 10日 日本脳炎予防接種2回目(後1時半)
- 11・12日 婦人ガン検診(後1時)
- 16日 1歳6か月児健康診査(後1時半) 三種混合(後2時半)
- 18日 交通事故相談(前10時) 心配ごと相談(前10時) (会場の記入のないのは役場)

公民館メモ

- 10日 すみ絵教室(前9時半) ペン字教室(後2時)
- 11日 園芸教室(前9時) 手芸教室(後1時半)
- 12日 洋裁教室(前10時)
- 14日 本読みの会(前9時半)
- 16日 料理教室(前9時半)
- 17日 ペン字教室(後2時)
- 18日 陶芸教室(後1時半)
- 19日 洋裁教室(前10時)

今月の納税

- 町県民税
- 国民健康保険税

慶弔録

出生(おすこやかに)

親の名続柄 子の名 月日 部落 高井則利 三女 純子 4・25野口

慶弔録

田辺 茂 長男 健一 5・3 岩西
上野良男 長男 真也 5・11 岩西前
藤田勝輔 二女 章子 5・12 前山
西村敏之 長男 拓磨 5・22 赤迫
婚姻(おしあわせに)
氏名 旧姓 住所
工藤明敏 寺河内
千代子(高橋) 広島県福山市
国平都雄 南祝
照子(米野) 宇部市
末次康徳 宇部市
悦子(森富) 宇部市
平佐芳宏 三重県上野市
佳枝(原田) 北祝
松浦晴美 砂一
明美(横沼) 山口市
中野康世 繩北
弘子(前田) 宇部市
門 祐二 下関市
啓子(兼定) 西条
山本 裕 宇部市
光子(徳永) 岩西前
古谷敬之進 寺河内
みゆき(上野) 宇部市
師井史郎 宇部市
京子(磯崎) 繩南

町の住民登録人口

(56年 5月31日現在)	前月比
世帯 2,222世帯	+3
人口 8,398人	-9
(男 3,927人 女 4,471人)	
(国勢調査 昭和55年10月1日)	
世帯 2,283世帯	
人口 8,327人	
(男3,887人 女4,440人)	

砂村幹夫 飛石
正子(寺田) 長門市
浜中敏宏 小南
眞智子(山崎) 新南陽市
上野伸也 岩上
美恵子(山田) 宇部市
松尾 誠 繩北
啓子(藤原) 宇部市
死亡(冥福を祈ります)
氏名 死亡月日 年齢 部落
西村 拓磨 5・23 0 赤迫
西中 英治 5・11 43 砂三